

ゴーン前会長、取り調べ年末年始も 年越しはカップ麺で

ゴーン前会長

2018年12月30日19時06分

シェア

ツイート

ブックマーク

メール

印刷

[list](#)

7



日産のカルロス・ゴーン前会長が勾留されている東京拘置所＝2018年12月21日、藤原伸雄撮影



日産自動車 の前会長 カルロス・ゴーン 容疑者(64)は、特別背任事件について年末年始も取り調べを受ける。今月下旬に急きょ再逮捕に踏み切り、東京地検特捜部 の捜査スケジュールに狂いが生じたためだ。異例の「越年捜査」を受けて、弁護人の接見も特例で認められた。

カルロス・ゴーン もたらした光と影

特捜部は10日にゴーン前会長を 金融商品取引法 違反容疑で再逮捕した。だが 東京地裁 が20日、勾留延長の請求を却下。早期保釈の観測が出る中、翌21日に 会社法 違反(特別背任)容疑で再逮捕した。

勾留期限は来年1月1日。最長で同11日まで延長が認められる。特捜部はこの日までに起訴するかどうかを判断するのが通例だ。

特捜部は年末年始の取り調べを避けて捜査スケジュールを組むのが通例だが、今回は異例の年越しだ。

拘置所を所管する 法務省 と 日本弁護士連合会 は、弁護人の接見を原則、平日と土曜の午前中と申し合わせている。年末年始の12月

[PR]

30日～1月3日は休日扱いで、接見は原則できない。

ゴーン前会長の弁護人を務める元特捜部長の大鶴基成弁護士は「接見なしで5日間連続の取り調べは異常だ」として、年末年始の接見を認めるよう要請。主任検事と調整し、30日～1月3日のうち、日曜の30日、祝日の元日以外の日は午前中に接見が認められることになった。接見は緊急性や必要性が認められれば、拘置所長の判断で許可しており、今回は例外的な措置だ。

関係者によると、ゴーン前会長は当初、約3畳の単独室に收容されたが、途中でベッドのある部屋に移された。3回目の逮捕にも動揺はみせず、「日産に損害は与えていない」と容疑を否認しているという。

法務省によると、東京拘置所では大みそかに「年越しそば」として カップ麺 が振る舞われる。普段の主食は米7割、麦3割だが、三が日だけ白米に変わる。元日は、エビやかまぼこ、黒豆が入ったおせちも提供される。法務省関係者は「前会長の口に合うかわからないが、多くの收容者は楽しみにしていると思う」と話す。

【動画】ゴーン氏の勾留延長却下、新たな容疑での再逮捕など、異例の展開の事件を解説＝永田篤史、根本寿彦撮影

関連ニュース

- ゴーン前会長逮捕「3部作の1部にすぎない」 真山仁氏
- 「やばい案件がある」 捜査協力選んだ日産幹部たち
- 霞が関で残業200時間「死にたい」の先、肌にあう仕事
- 定年後に妻が他界、家に1人…夕食はいつも駅前になった